

令和4年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称	上田市クラインガルテン					
指定管理者名	稲倉の棚田保全委員会	料金制導入区分	使用料(直接収納)			
指定管理期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (3年間)					
施設所管課	農林部	農産物マーケティング推進室				
設置目的	都市住民との交流及び都市部から農村地域への移住を推進し、もって農村地域の活性化及び農村資源の保全を図る					
指定管理者が行う業務内容	(1) クラインガルテンの利用許可に関する業務 (2) クラインガルテンの施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) 前2号に掲げるもののほか、クラインガルテンの運営に関する業務のうち、市長のみの権限に属する業務を除く業務					
管理業務の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	清掃(日常清掃)	交流棟の清掃	1	開館日	職員が実施	
	清掃(定期清掃)	宿泊棟の清掃(退去時)	1	退去時	専門業者へ委託	
	清掃	ゴミの処分	2	月2回	職員が実施	
	点検	給排水設備の点検	1	開館日	職員が実施	
職員の配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	統括責任者			1	人	
	管理担当			3	人	
施設の利用状況	利用区分等	設定目標値	R4年度実績	達成率	R3年度実績	前年度比
	農園利用者	279 人	848 人	303.9 %	756 人	112.2 %
	交流棟利用者	0 人	20 人	#DIV/0! %	32 人	62.5 %
		人	人	%	人	%
		人	人	%	人	%
	開館日数	294 日	延べ利用者数(R4)	868 人	一日あたり利用者数	3 人
	(施設所管課による評価) ・農園の使用契約をしている利用者の実績は目標を大幅に上回った。 農園利用者が快適に滞在型市民農園を楽しんでいただけるよう、指定管理者が様々な工夫を行っている。 ・コロナ禍であったため、一般の利用者による交流棟の使用申請は少なかった。					
自主事業の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	交流会			4月9日	12	
	夏野菜料理講座			8月27日	2	
	漬け物講座			12月3日	4	
	お餅つき大会			1月28日	2	
	送別会			3月18日	18	
(施設所管課による評価) ・定期的な利用者との交流会を開催し、農園の利用回数増加に結びつけることができている ・季節の行事については、県外に施設利用者が点在しているため参加者の確保が困難であったが、開催日を年度当初に決めて周知するといった対策を検討しており、問題ないと思われる。						

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

		項目	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額	令和4年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入		(直営)	3,548,000	3,548,000	
		指定管理料					
		保全委員会繰入金			0	500,000	
		販売代金			0	0	
		自主事業会費			0	5,100	
		雑収入			0	6,538	
		計	0	0	3,548,000	4,059,638	
		支出					
	人件費			2,300,000	2,413,800		
	需用費、修繕費			251,000	245,270		
	燃料費、光熱水費			230,000	207,013		
	役務費、委託費			767,000	1,112,009		
	負担金			0	60,000		
		計	0	0	3,548,000	4,038,092	
	差引	0	0	0	21,546		
自主事業	収入				0	82,000	
	参加費				0	63,800	
	販売収入				0	3,600	
	受託費				0	149,400	
		計	0	0	0	149,400	
	支出				0	80,900	
人件費				0	116,812		
材料費				0	197,712		
	計	0	0	0	197,712		
	差引	0	0	0	△ 48,312		
市	歳入				5,040,000	5,040,000	
	クラインガルテン利用料						
		計	0	0	5,040,000	5,040,000	
	歳出				3,548,000	3,548,000	
指定管理料				600,000	99,000		
修繕費、工事請負費				892,000	1,393,000		
積立金				0	0		
	計	0	0	5,040,000	5,040,000		
	差引	0	0	0	0		
総合計			0	0	0	△ 26,766	

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

評価項目		判断基準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。責任者や指揮命令系統は明確か。	○
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	○
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	○
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	◎
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	○
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	○
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	○
条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。		○	
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	○
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。施設運営に不要な経費の支出がないか。	○
		経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。
	管理費用の執行状況は適正か。		○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報が適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	○
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行われているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。 管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	○
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか。	◎
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないよう、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	○
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	◎
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	○
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	○
安全衛生の管理体制は適正か。		○	
個別事項			

(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和4年度(令和4年4月1日～令和5年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

- ・利用者から開催して欲しいと要望があった漬物講座をひらき、地域の方を先生として迎え話も弾み好評でした。
- ・年始めに稲倉の棚田保全委員会と一緒にもちつきをおこない交流を深めました。
- ・コロナ禍ということもありお客様が長期間不在の際は、依頼を受けたら管理人が畑の水やりや野菜の収穫を行いました。

②経費節減に対する取り組み

- ・施設周辺の草刈り、用水路の掃除、薪ストーブの手入れ等、業者をお願いするのではなく棚田保全委員会で行いました。
- ・退去の際の掃除、畑の原状回復は可能な限り棚田保全委員会で行いました。

③その他

- ・交流棟内が薪ストーブを焚いても温まりにくく、ブランケット、座布団等を用意し、利用できるようにしました。

(2)指定管理業務実施上の課題

- ・利用頻度が少ないと畑の作物が育ちすぎてしまったり、水やりができなかったりするので、こちらでどこまで管理すればよいか検討する必要があると思いました。
- ・利用者さん向けのイベントを開催しても中々人が集まらず、皆さんの意見を取り入れながら魅力的なイベントが開催できたらと思います。

(3)次年度以降の取り組み

- ・交流棟でのイベントに留まらず、希望者を募って、登山やどこかに出かけるなど交流の幅を広げていきたいです。
- ・地元の方との交流する機会も増やしていきたいと思います。

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

- ・味噌づくりがしたいという希望があり、今年は畑に大豆を植えたので冬に味噌づくりをする予定です。
- ・自主事業費の支払いに銀行振り込みも取り入れました。

②市からの改善指示に対する対応(※市から改善指示等があった場合のみ)